

西都市教育研究センター

I	研究主題と副題	3-5-1
II	主題設定の理由	3-5-1
III	研究目標	3-5-1
IV	研究仮説	3-5-1
V	研究で目指す子どもの姿	3-5-1
VI	研究内容	3-5-1
1	人材活用研究班	3-5-1
(1)	これまでの人材活用の課題	3-5-1
(2)	人材活用の利点の整理	3-5-2
(3)	探究的な学習につなげるための人材活用	3-5-2
2	体験活動研究班	3-5-3
(1)	体験活動のとらえ方	3-5-3
(2)	学習における体験活動のサイクル	3-5-3
3	さいと学指導計画例の作成	3-5-3
(1)	小学校第6学年さいと学指導計画例	3-5-4
(2)	中学校第2学年さいと学指導計画例	3-5-7
VII	成果と課題	3-5-10
1	成果	3-5-10
2	課題	3-5-10
	〈引用・参考文献〉	
	〈研究同人〉	

I 研究主題と副題

ふるさと西都を愛し、社会に貢献しようとする児童生徒の育成
～ 人との関わりや体験活動を重視したさいと学を通して ～

II 主題設定の理由

本市では、平成19年度に構造改革特別区域の認定を受け、新教科「さいと学」がスタートした。平成20年度に教育特区の許認可権が文部科学省に移管されたため、平成21年度より「教育課程特例区」という新しい枠組の中で「さいと学」は新教科ではなく、総合的な学習の時間として位置付けられることとなった。これまで各小・中学校では「さいと学」の充実を図るため、学習内容や指導方法などの工夫・改善に力を注いできた。

昨年度の研究では、「さいと学」を更に充実させるため、子どもたちに身に付けさせたい力や活動を明確にし、「人材活用」や「体験活動」を指導過程に位置付け、より探究的な学習を展開できるよう工夫を行った。

しかしながら、実践を重ねる中で「人材活用」においては、子どもたちの興味・関心を高めないまま講師を依頼したり、講師の話す内容に指導のねらいや意図が反映されなかったりするなどの課題が見られた。また「体験活動」においては、子どもたちに明確な目的意識をもたせないまま活動させたり、事前・事後指導のつながりを十分に意識させずに活動させたりするなどの課題も見られた。

そこで、本研究では「さいと学」の目指す「ふるさとを愛する子ども」により迫るために、各学校が抱える「人材活用」や「体験活動」についての課題に着目し、互いが有機的に機能し、子どもたちの主体的な学びにつながる活用の在り方について研究を行うこととした。

このことにより、各学校における効果的な「さいと学」の実践が展開され、地域を学び、地域に学び、自分自身を見つめることができる子どもたちの育成につながると考え、本主題を設定した。

III 研究目標

人との関わりや体験活動を重視した「さいと学」の研究を通して、ふるさと西都を愛し社会に貢献しようとする児童生徒の育成を目指す。

IV 研究仮説

「さいと学」において、「人材活用」や「体験活動」の在り方について工夫・改善を行えば、子どもたちが西都市のよさを知るとともに、ふるさと西都を愛し社会に貢献しようとする態度を育てることができるのではないか。

V 研究で目指す子どもの姿

- 自分の考えをもち、表現したり発信したりできる子ども（表現）
- 西都・社会・人・地域に貢献できる子ども（貢献）
- 意欲的に学ぶ子ども（意欲）

VI 研究内容

1 人材活用研究班

(1) これまでの人材活用の課題

これまでの「さいと学」における人材活用の場面では、児童生徒の関心・意欲が十分でない状態であるにもかかわらず、学校に来て講話をしていただいたり、作業の補助をお願いしたりするということが多かった。そこには、

- ・ 十分な打ち合わせができておらず、学習のねらいにそぐわない活用となる。
- ・ 一単位時間だけの関わりとなり、学習につながりがでない。

という大きな課題があった。

(2) 人材活用の利点の整理

「さいと学」において探究的な学習を行っていくための人材活用の利点を整理した。

- ・ 資料だけでは分からないことを聞くなど児童生徒の興味・関心に応じた学習を展開できる。
- ・ 地域に住んでいる人の生き方から、自分の生き方について考えることができる。
- ・ 地域に貢献しようとする意欲やふるさとを愛する心情を高めることができる。
- ・ 地域の声（思いや願い）を学習に生かすことができる。

(3) 探究的な学習につなげるための人材活用

ア 3つのポイントを位置付けた人材活用の在り方

上記の課題及び利点を踏まえた上で、人材を活用する際のポイントを3つに絞った。

- ・ 効果的な人材活用⇒【学びの連続性】【講師の不安感・負担感の軽減】
- ・ 必然性を基軸とした学習⇒【教師のねらいと講師の思いの合致】
【子どもの思いに沿った学習の展開】
- ・ 地域の声を生かす⇒【西都への貢献】

イ 打合せシート作成の際の留意点

打ち合わせシート

- 日時 平成〇年〇月〇日(〇) 〇時〇分～〇時〇分 (50分)
- 場所 体育館
- 対象学年 第2学年(〇名)
- 単元名 「働く意義について考えよう」

- ねらい 「働く人と語る会」を通して、働くことの意義や大切さ、働く人々の思いについて理解を深める。

学習の流れ	学習活動	児童生徒の知りたいこと・教師のねらい
前時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験学習に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業の種類について ・ 人は何のために働くか ・ 職場体験学習のねらい 	児童生徒の知りたいこと <ul style="list-style-type: none"> ・ その仕事を選んだ理由 ・ 仕事をして辛かったことや苦しかったこと ・ 仕事をして嬉しかったこと ・ 今だから言える失敗談
	教師のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 講話を通して、働くことの意義や大切さ、仕事への思いを理解してほしい。 	
	めあて：働く上で大切なことややりがいは何だろうか	
本時	① 講師紹介 (5分) ② 講話 (35分) <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介や現在の仕事等について ○ プロフィール等 ・ 現在の仕事に就くまでの経歴等 ・ 現在の仕事の概要等 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「働く上で大切なことややりがい」について <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒へのメッセージ 	○ 学生時代や今の仕事に就くまでに苦労したことや学んだことなど... ○ なぜ、西都市の仕事に就いたのか... ○ 上記の「児童・生徒の知りたいこと」を通して話していただけると... ○ 仕事をする上で、職場体験学習をする上で大切にしないといけないことは...
	③ 質疑応答(5分)	
	④ お礼の言葉(5分)	

本時の学習だけでなく、前時の学習や今後の学習、教師のねらいについても理解していただけるように明記する。
【ねらいと思いの合致】

児童生徒の興味・関心に沿った話をさせていただくことで、より高い教育効果が期待できる。
【子どもの思いに沿った学習の展開】

話していただくことを明確にすることで、ねらいに沿った学習が展開され、講師の方の負担を減らす。
【講師の不安感・負担感の軽減】

地域の思いを学習に生かす。
【西都への貢献】

○ 今後の学習予定

学習活動	お名前
○ 職場体験学習へ向けて準備をしよう	
○ 実際に働くことを体験しよう	
○ 職場体験学習で学んだことを振り返ろう	
○ 職場体験学習で学んだことを伝えよう	

今後の学習にも継続して関わっていただくように留意する。
【学びの連続性】

ウ 実際の打合せ場面

実際にお会いして教師が何をねらいとしているか、また、児童が何を学びたいと思っているかについてお話した。その際に何ったお話がヒントになり、授業やインタビューの組み立てが変わることもある。こうした打合せを十分に行うことで「何をすればいいのかわからない。」といった講師の方の不安感・負担感を軽減でき、かつ、ねらいに沿った授業を展開することができる。



2 体験活動研究班

(1) 体験活動のとらえ方

体験活動とは、体験を通して何らかの学習が行われることを目的とした意図的・計画的な活動である。子どもたち自身が対象に働きかけ、関わっていく中で、思考を活性化させるとともに、学ぶ喜びや興味・関心・意欲の向上を図ることができる。また、体験活動の中で人や自然等とふれあうことを通して、社会性や共に生きる力、豊かな人間性や価値観等を築いていくこともできる。

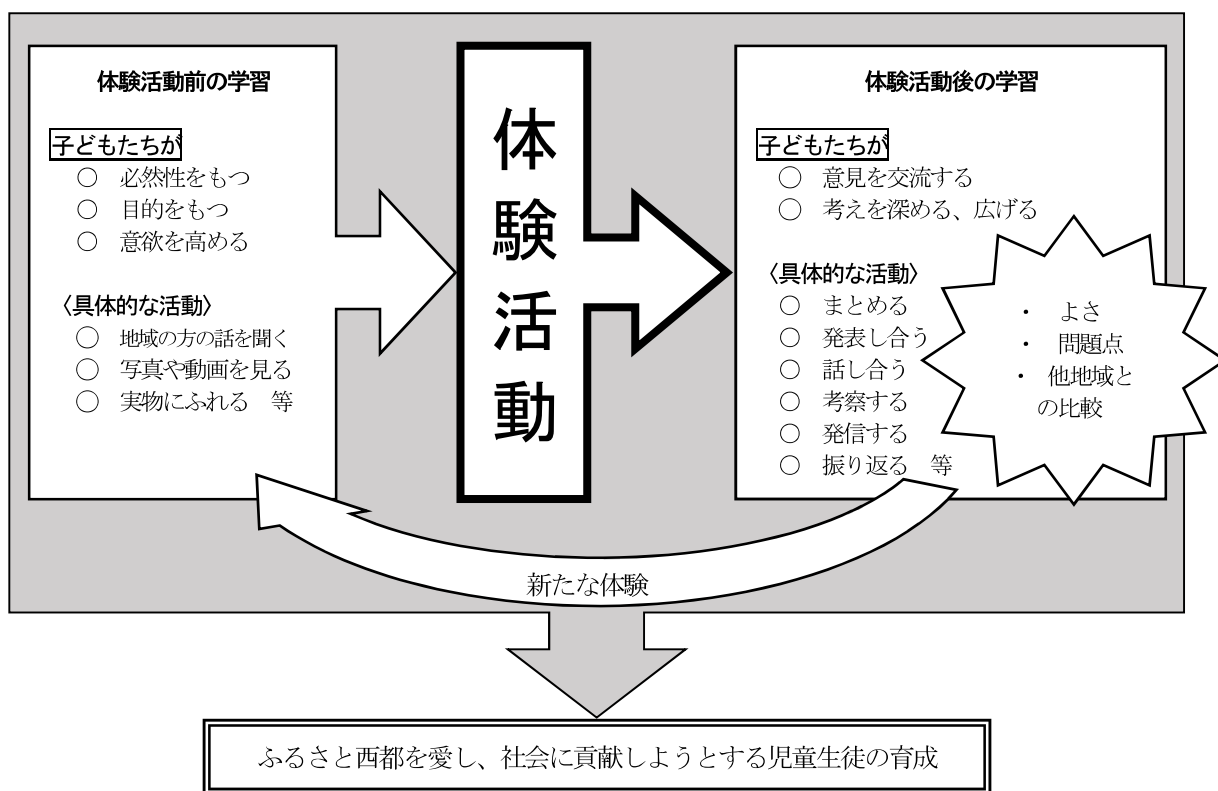
(2) 学習における体験活動のサイクル

「さいと学」では、これまでも直接体験を中心とした体験活動を重視し、ふるさとを愛する心と態度を育成してきた。今後、体験活動を更に充実させるためには、単に実施するだけではなく、体験活動の前後にどのような学習活動を位置付けていくかを考えていく必要がある。

体験活動の前には、子どもたちが体験活動を行う必然性や目的をもち、体験活動への意欲を高めることが大切である。具体的には、地域の方の話を聞く、写真や動画を見る等が考えられる。

体験活動の後には、子どもたちが体験活動を通して感じたよさや問題点、他地域との比較という視点のもとにまとめたり、発表したりすることが大切である。体験活動の中で子どもたちが感じたり考えたりすることは一人一人違う。そこで、子どもたちが体験活動後に意見を交流することで、更に自分の考えを深めたり広げたりすることができる。

このような学習のサイクルを繰り返すことにより西都を愛し、社会に貢献しようとする態度を育成することができる。



〈学習活動例〉

単元名	体験活動前の学習	体験活動	体験活動後の学習
西都の歴史・伝統を知ろう (小学校6年)	○ 子ども曰太鼓踊りを国体で披露した方の話を聞く。	○ 5年生に伝えたり、運動会等で披露したりする。	○ 踊りを見た保護者や地域の方の感想等を見る。
望ましい職業観、勤労観を身に付けよう (中学校2年)	○ 働く大人の話聞く。 ○ 働く上で大切なことについて考える。	○ 事業所で体験をする。	○ 働く大人の思いをまとめる。 ○ 自分の将来の生き方について考える。

3 さいと学指導計画例の作成

(1) 小学校第6学年さいと学指導計画例

○ 単元名 西都の歴史・伝統を知ろう「下水流臼太鼓踊・子ども臼太鼓踊り」

○ 目標

- ・ 西都の歴史・伝統に対してかかわろうとする態度をもち、下水流臼太鼓踊について進んで調べたり子ども臼太鼓踊りを積極的に教えたりしようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・ 下水流臼太鼓踊を伝承する人々の思いや願いに気付き、子ども臼太鼓踊りの伝統を守り続けていくことの大切さについて考えることができる。 (思考・判断)
- ・ 下水流臼太鼓踊について調べたことを分かりやすく説明したり、子ども臼太鼓踊りを正しく教え、一緒に踊ったりすることができる。 (技能・表現)
- ・ 下水流臼太鼓踊や子ども臼太鼓踊りの歴史、特徴について理解することができる。 (知識・理解)

○ 単元計画 (全15時間)

探究的な学習過程 (時数)	学習活動 (学習活動の方法)	目指す児童の姿 (表現・貢献・学ぶ意欲の観点)	評価計画 (評価の観点)
	1 下水流臼太鼓踊について調べよう。		
[探究1] 課題の設定 (1)	(1) 下水流臼太鼓踊について知り、感想を発表し合う。 体験活動前① ① 子ども臼太鼓踊りの動画を見る。 ② 下水流臼太鼓踊がもっていることを知る。 ③ 下水流臼太鼓踊の動画を見る。 ④ 感想をワークシートに書き、発表する。	○ 運動会で見た子ども臼太鼓踊りはかっこいいな。踊ってみたいな。 (貢献) ○ 下水流臼太鼓踊は伝統があるんだな。 (貢献) ○ 下水流臼太鼓踊を調べたいな。 (意欲)	○ 子ども臼太鼓踊りが下水流臼太鼓踊を土台に作られていることを理解することができる。 (知・理) ○ 下水流臼太鼓踊の歴史や特徴を調べ、伝えていきたいという意欲をもつことができる。 (意)
情報の収集整理・分析 (3)	(2) 下水流臼太鼓踊について調べる計画を立てよう。 ① 調べることを決める。 ・歴史、ひもろぎなど ② 調べ方を考える。 ・さいと学副読本 ③ まとめ方を決める。 ・ワークシート、模造紙など	○ 下水流臼太鼓踊についてもっと調べたいな。 (意欲) ○ 下水流臼太鼓踊は、ずっと続いていてすごいな。 (貢献)	○ 計画を立て、意欲的に調べることができる。 (意)
	(3) 下水流臼太鼓踊について副読本で調べたり、保存会の人に聞いたりする。 人材活用場面①	○ 下水流臼太鼓踊についていろいろ分かってよかったな。 (意欲) ○ 下水流臼太鼓踊についてまとめたいな。 (意欲)	○ 課題にそって調べることができる。 (技・表)
	(4) 下水流臼太鼓踊についてまとめる。	○ 自分が調べたことを知ってもらいたいな。 (貢献)	○ 下水流臼太鼓踊の歴史や特徴について資料収集を行い、活用してまとめることができる。 (思・判)
まとめ・表現 (1)	(5) 下水流臼太鼓踊について発表する。	○ 友達の発表に自分の調べたことを付け加えて発表することで、より多くの人に知ってほしいな。 (貢献)	○ 実物投影機でワークシートや写真などを映して説明することができる。 (技・表)

2 子ども臼太鼓踊りを5年生に伝えよう。

(1) 子ども臼太鼓踊りについて考える。

体験活動前②

- ① 横山さん（子ども臼太鼓踊りを国体で披露した方）の話を聞く。（または動画）

人材活用の場面②



- ② 5年生に子ども臼太鼓踊りを伝えるという伝統を、受け継いでいく役目があることを知る。

（昨年度の運動会の動画や写真）

- ③ 踊りの練習をする。



- 伝統的に受け継がれていてすごいな。（貢献）
- 先輩から教えてもらった子ども臼太鼓踊りを自分たちが後輩に伝えていきたいな。（貢献・意欲）

- 5年生に伝えようという意欲をもつことができる。（意）

[探究2]

課題の設定
(1)

打ち合わせシート（インタビュー依頼）

横山 様

- インタビューする日時 平成28年12月26日(月) 17時00分～18時00分
- 打ち合わせ 穂北小学校2年生教室
- 対象学年 第6学年
- 単元名 さいと学「西都の歴史・伝統を知ろう」
- 学習のねらい

受け継いだ子ども臼太鼓踊りを、進んで5年生に伝えようとする

★ 依頼したいこと
子ども臼太鼓踊りに携わってきた中で、感じていることや願いなどをお話していただきたい。

○ 学習の流れ

	学習活動	教師のねらい
これまでの学習内容	1 下水流臼太鼓踊りの歴史や特徴を調べる。 2 調べたことをまとめて、発表する。	児童生徒が調べたこと ・下水流臼太鼓踊りの歴史 ・ひもろぎの意味 ・下水流臼太鼓踊りの現在の活動 ・他の地域の臼太鼓踊り
インタビュー動画を活用する学習内容	子どもたちの学習のめあて 子ども臼太鼓踊りを5年生へ伝えたいという思いや願いをもつことができる。 1 子ども臼太鼓踊りを6年生から5年生へ伝承していく意義を知る。 ○ 子ども臼太鼓踊りの動画を見る。 ○ 動画を見た感想を発表する。 ◎ 子ども臼太鼓踊りに携わってきた横山さんのインタビュー動画を見る。 2 5年生に子ども臼太鼓踊りを伝える際に、大切にしたい自分の思いをワークシートにまとめる。	教師のねらい ・受け継いできた方々の思いを知り、児童の伝承したいという気持ちを高める。 ○インタビュー内容 ①いつから子ども臼太鼓踊りに携わっていますか？ ②なぜ、子ども臼太鼓踊りを子どもたちに伝える活動をしているのですか？ ③子どもたちに子ども臼太鼓踊りを伝えていく中で感じていることは何ですか？ ④子どもたちが子ども臼太鼓を踊るときに大切にしていることなどがありましたらお願いします。 ⑤西都市の児童にどのような大人になってほしいですか？（伝統を守ることについて、西都に貢献することについて）

情報の整理・分析
(5)

(2) 子ども臼太鼓踊りを5年生に伝える。

体験活動

- ① 6年生の踊りを見せる。
- ② 5年生に踊り方を教える。



- ③ 全員一斉に踊る。

- 5年生にも踊りに興味をもってほしいな。（貢献）
- 5年生にうまく教えたいな。（表現・貢献）
- 5年生に子ども臼太鼓踊りを伝えるという役目を果たしたい。（貢献）

- 伝えたいという気持ちもちながら、教えたり踊ったりすることができる。（技・表）
- 伝統を正しく伝えるために踊りのポイントを伝えることができる。（技・表）

【5年生に子ども臼太鼓おどりを教えた感想】

5年生に教えるとき最初は自分が最後まで踊れるのか不安でしたが昨年しかおどりを身につけていたのでおどれ、ほっとしました。教えるのは次に次にまた村をわたしてバトンタッチをしているように思いました。

	<p>○ 5・6年生一緒に踊る。 ○ 5年生だけで踊る。</p> <p>(3) 5年生の子ども臼太鼓踊りを完成させる。</p> <p>① 5年生の踊りを見て、よい点や練習が必要な部分を見つけ指導し、繰り返し練習する。</p> <p>② 5年生への子ども臼太鼓踊り指導の感想をワークシートに書く。</p>	<p>○ 5年生が踊りを覚えて伝統を受け継いでくれてうれしいな。 (貢献)</p> <p>○ よりよい子ども臼太鼓踊りに仕上げていきたい。 (表現・貢献)</p>	<p>○ どんな思いで5年生に伝えたのか、自分の感想をまとめることができる。 (技・表)</p>
<p>まとめ・表現 (4)</p>	<p style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">3 子ども臼太鼓踊りに必要な道具を身に付けて踊ろう。</p> <p>(1) 子ども臼太鼓踊りに必要な道具を身に付けて踊ろう。</p> <p>① 5年生と一緒に子ども臼太鼓踊りの衣装を身に付けて踊る。</p> <p>② 必要な道具の準備や衣装やひもろぎの付け方を確認する。</p> <p>③ 5・6年生合同で踊る。</p> <p>④ 学校行事で披露する。</p>	<p>○ 子ども臼太鼓踊りの衣装やひもろぎの装着の仕方を身に付けたいな。 (貢献)</p> <p>○ 5年生が伝統を受け継いでくれてうれしいな。 (貢献)</p>	<p>○ 伝承する喜びを感じることができる。 (思・判)</p>
	<p>(2) 子ども臼太鼓踊りの学習について自分の思いや考えをまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体験活動後①</p> <p>① 保護者の感想・地域の感想や動画等を見る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人材活用の場面③</p> <p>② 子ども臼太鼓踊りを学習して、気付いたこと、考えたこと、感じたことをまとめる。</p> <p>③ 自分の思いや考えを発表する。</p>	<p>○ 子ども臼太鼓踊りをずっと伝えていきたいな。大事にしたいな。 (表現・貢献)</p> <p>【児童の感想】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私が子ども臼太鼓踊りの学習を振り返って最も強く感じたことは、この「子ども臼太鼓踊り」が何年も何十年も次の代、次の代へと続いてくれたらいいな、ということです。妻南小の踊りは他の小学校に比べてキレがあると思います。西都市全体で行われる陸上記録会では、その踊りを色々な人に披露できる場だと思います。なのでみんな一生懸命練習して、すばらしい子ども臼太鼓を伝えていってほしいな、と思います。</p> </div>	<p>○ これからも伝統を守り続けたいという気持ちをもつことができる。 (思・判)</p>

(2) 中学校2学年さいと学指導計画例

○ 単元名 望ましい職業観、勤労観を身に付けよう

○ 目 標

- ・ 将来の仕事や職業に関心を深め、望ましい職業観や勤労観を身に付け、西都市をさらに良くしようとする意欲を高めることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・ 西都市の中の自分の存在や立場、役割についてとらえ、将来どのような職業に就くか、自分の進路選択について考えることができる。 (思考・判断)
- ・ 職場体験学習で学んだことや得たこと、体験した内容などについてまとめ、発表することができる。 (技能・表現)
- ・ 社会には様々な職業があり、それぞれにやりがいや必要な技能・資格があることを理解することができる。 (知識・理解)

○ 単元計画 (全26時間)

探究的な学習過程 (時数)	学習活動 (学習活動の方法)	目指す生徒の姿 (表現・貢献・学ぶ意欲の観点)	評価計画 (評価の観点)
[探究1] 課題の設定 (2)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 働く意義について考えよう。</p> (1) オリエンテーション ・ 1年間の流れ、学習計画 体験活動前①	○ どんな事業所でも頑張りたいな。 (意欲) ○ どんな職業があるのだろうか。 (意欲)	○ 将来の進路選択について、意欲的に考えることができる。 (意)
	(2) 働く大人の話聞く。 ・ 職業講話 体験活動前② 人材活用の場面① 	○ 働く上で大切なことややりがいは何だろう。 (意欲・貢献)	○ 働くことの意義や大切さ、働く人々の思いについて理解することができる。 (知・理)
情報の収集 (3)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 職場体験学習へ向けて準備をしよう。</p> (1) 自分の体験する職業について調べる。	○ 自分の行く事業所はどんなことをするのだろうか。 (意欲) ○ 早く職場体験に行きたい。 (意欲)	○ 自分の体験する職業について意欲的に調べることができる。 (意)
	(2) 職場体験学習で聞いてみたいことを考える。	○ どんな思いで働いているのか知りたいな。 (貢献)	○ 自分が尋ねてみたいことを考えることができる。 (技・表)
	(3) 自分自身を振り返り、アピール文書を作る。	○ 自分の聞きたいことをしっかりまとめよう。 (表現)	○ アピール文書を作ることができる。 (技・表)
	(4) 事業所へ電話連絡をとり、最終確認をする。	○ 礼儀正しく受け答えしたいな。 (表現)	○ 要点をまとめながら、相手とやりとりすることができる。 (技・表)

3 実際に働くことを体験しよう。

(1) 事業所で体験をする。
・職場体験学習
体験活動

(2) 事業所の方へのインタビューをする。
人材活用の場面②

○ 事業所の方に喜んでもらえるように頑張ろう。(貢献)

○ 礼儀正しく受け答えしたいな。(表現)

○ 職場体験学習を通して、働くことの意義や大切さ、働く人々の思いについて理解を深めることができる。(知・理)

○ 知りたい情報を正確にインタビューすることができる。(技・表)

情報の
収集
整理・
分析
(12)



打ち合わせシート

○ 日時 平成○年○月○日(○) ○時○分～○時○分

○ 場所 各事業所

○ 対象学年 第2学年(○名)

○ 単元名 「 楽しい職業観、勤労観を身に付けよう ～職場体験学習～」

○ ねらい 職場体験学習を通して、働くことの意義や大切さ、働く人々の思いについて理解を深める。

学習の流れ

	学習活動	生徒の知りたいこと・教師のねらい
前段階	<ul style="list-style-type: none"> 働く意義について考えよう <ul style="list-style-type: none"> どんな大人になりたいのか考える。 「職業」と「仕事」の違いについて 何のために働くのだろうか。 職場体験へ向けて準備をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> 職場体験で聞いてみたいこと アピール文書の作成 事業所への連絡 	<p>生徒の知りたいこと(教師の手懸)</p> <ul style="list-style-type: none"> その職業に就くためには何を勉強すればよいか。 働くことの大変さ、楽しさ その職業に就いたきっかけ その仕事に対する思い 西都市で働く利点 <p>※上記の「知りたいこと」について、生徒がインタビューをしますので、よろしくお願ひします。</p>
本場	<p>めあて：働くことの大変さややりがいを職場で体験しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめのあいさつ 職場体験(8:30～16:30) ※仕事内容 ※事前に生徒に知らせてほしいこと 終わりのあいさつ 	<p>教師のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分を見つめ直し、将来に向けて職業人として社会に貢献できるような生き方を考えさせる。 <p>※貴事業所の概要や事業内容、職業に就くために必要な資格や能力・適性、仕事の厳しさについて話していただけるとありがたいです。</p> <p>※内容や手順につきましては、お手数ですが、詳しくご指導ください。</p> <p>※学校では事前に以下のことを指導しております。ご協力をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規則を守り、担当者の指示に従うこと。 ○安全に十分留意すること。 ○あいさつや言葉遣い、服装、行動をしっかりとすること。 ○商品や機械等の扱いに配慮すること。 <p>※職場体験期間中に〇〇さんが西都市の児童生徒にどのような大人になってほしいか、自由にお話ください。</p>

4 職場体験学習で学んだことを振り返ろう。

(1) 職場体験学習を終えて感じたことや前後で成長したこと、「働く大人の思い」等についてまとめる。
体験活動後①

○ 自分が成長したところは何だろう。(表現)

○ それぞれが西都のために貢献しているのだな。(貢献)

○ 職場体験学習前後の自分自身について振り返ることができる。(思・判)

○ 働く人々の思いについて理解を深めることができる。(知・理)

まとめ・
表現
(2)

5 職場体験で学んだことを伝えよう。

(1) 体験発表会(文化発表会や学級での発表)で発表する。または、お世話になった方へお礼状を書く。

○ 自分の思いや考えをきちんと発信できるかな。(表現)

○ 自分が西都にできることは何だろう。(貢献)

○ 自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができる。(技・表)

まとめ・
表現
(1)

<p>[探究2] 課題の 設定 (1)</p>	<p>6 希望する職業を考えよう。</p> <p>(1) 将来就きたい職業を考え、どんな大人になりたいか考える。</p>	<p>○ 人や地域に貢献できる大人になりたいな。 (貢献)</p>	<p>○ 将来就きたい職業を積極的に考えることができる。 (意)</p>
<p>情報の 収集 整理・ 分析 (2)</p>	<p>7 将来の職業について考えよう。</p> <p>(1) 希望する職業に就くための進路を考える。</p>	<p>○ どうすれば希望する職業に就けるのかな。 (意欲)</p> <p>○ 地域に貢献できる方法を考えよう。 (貢献)</p>	<p>○ 希望する職業に就くための進路を意欲的に調べることができる。 (意)</p>
<p>整理・ 分析 (1)</p>	<p>8 「将来の自分」について他者に伝えよう。</p> <p>(1) 将来の自分について語る。 (2) 今後の中学生活について決意表明をする。</p>	<p>○ 人や地域に貢献できる大人になりたい。(貢献)</p> <p>○ 夢をかなえるために努力しよう。(意欲)</p> <p>○ 残りの中学校生活を頑張ろう。(意欲)</p>	<p>○ 将来の自分の姿をイメージし、今後の目標や進路について語るができる。(技・表)</p>
<p>情報の 収集 (1)</p>	<p>9 先輩の生き方から学ぼう。</p> <p>(1) 職業人の講話を聞き、今後の生き方に役立てる。 ・立志式や職業人の講話 体験活動後② 人材活用の場面③</p>	<p>○ 人生は苦しいこともあるけど頑張ろう。(意欲)</p> <p>○ 頑張れば夢は叶うんだな。(意欲)</p> <p>○ 地域に貢献したいな。 (貢献)</p>	<p>○ 働くことの意義や大切さ、働く人々の思いについてさらに考えることができる。(思・判)</p>
<p>まとめ・ 表現 (1)</p>	<p>10 これまでの学習を振り返ろう。</p> <p>(1) 学習の振り返りをする。</p>	<p>○ 自分の将来について見つめ直せたかな。(意欲)</p> <p>○ この学習で身につけたことを次に生かそう。 (意欲)</p>	<p>○ 将来の自分や地域との関わりについて考えることができる。 (思・判)</p>

<p>本時</p>	<p>① 講師紹介 1 講師紹介(3分) 2 講話(40分) ①自己紹介や現在の仕事等について ・プロフィール等 ・現在の仕事に就くまでの経歴等 ・現在の仕事の概要等 ②「社会生活で大切なことや生きがい」について</p>	<p>○ 学生時代や今の仕事に就くまでに苦労したことや学んだことなど… ○ なぜ、西都市の仕事に就いたのか…</p> <p>○ 上記の「児童・生徒の知りたいこと」を通して話していただくと… ○ 夢を実現するために、必要なことや学生時代努力しないといけないこと ○ この学年は失敗することを恥ずかしいと思う生徒が多いので、「失敗から学ぶことの大切さ」などを伝えてほしい</p>
-----------	--	---

Ⅶ 成果と課題

1 成果

- 「さいと学」におけるより効果的な「人材活用」や「体験活動」の在り方について研究を深めることを通して、西都市のよさを知り、自分の考えをもち、表現しようとする児童生徒が見られるようになった。
- 目指す子どもの具体的な姿を指導計画に反映させることにより、単元目標を意識した学習活動の精選や焦点化を図ることができた。
- 「さいと学」における体験活動などで指導に当たる外部指導者との打合せシートを作成し活用することにより、必然性を基軸とした指導計画を構築することができた。

2 課題

- 「西都の歴史・伝統を知ろう」「望ましい職業観、勤労観を身に付けよう」の単元指導モデルを作成したが、実践に至らなかったため次年度実践するとともに、より実態に即した単元指導モデルの工夫・改善を図る必要がある。
- 2単元の指導モデルしか作成することができなかつたため、今後計画的に作成し「さいと学」を更に充実させる必要がある。

〈引用・参考文献〉

- ・ さいと学 テキスト 西都市教育委員会
- ・ さいと学 指導手引き 西都市教育委員会
- ・ さいと学 年間指導計画 西都市教育委員会
- ・ 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 文部科学省 2008
- ・ 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 文部科学省 2008
- ・ 小学校キャリア教育の手引き 文部科学省 2011
- ・ 中学校キャリア教育の手引き 文部科学省 2011

〈研究同人〉

所 長 竹之下 悟（西都市教育委員会教育長）

主任研究員 藤田 雅元（都於郡中学校）

研 究 員

岩本 恒男（妻北小学校） 川原 友紀（妻北小学校） 満留 紀子（妻南小学校）

山田 玲子（妻南小学校） 江藤 千恵（穂北小学校） 中山 哲也（茶臼原小学校）

矢野 里香（三納小学校） 浦本 真紀（都於郡小学校山田分校）

木下 浩利（三財小学校） 日高 純司（妻中学校） 五反田 恵（妻中学校）

榎本 真理子（三納中学校） 黒木 千穂（三財中学校） 深田 稔彦（銀鏡中学校）

事 務 局

田中 幸一、山内 昭弘、野邊 孝大、高山 めぐみ（西都市教育委員会教育政策課）